

牧羊ひろば



和歌山教会 教会学校

25年ほど前の教会堂は二階建てのプレハブでした。二階の床が抜けるんじゃないかと思うほど、元気いっぱい、



25年ほど前のスプリングキャンプ

和歌山教会は、和歌山市内にあり、近くには和歌の浦という、古くから歌に詠まれている、景色の美しい場所にあります。

多くの子どもたちが集っていました。楽しい行事がいっぱいありました。写真の劇は、イースターの時のものです。二十世紀からタイムマシンでやってきたニュースレポーターが、イエス様の十字架の出来事取材しているところです。もう一枚はスプリングキャンプで、そのキャンプでの一番の思い出は肝試しでした。みんな泣きべそをかいて、大人の私でさえ怖かったのを覚えています。

今から四半世紀前はアナログ時代でした。毎週土曜日に小学校前で配るCS案内から、CS週報に暗唱聖句カード、子ども大会のチラシまで、すべてガリ版印刷でした。

子ども大会は映画会が多かったです。



25年ほど前のイースター劇

映画といっても16ミリ映画のことです。大勢の子どもたちが目を輝かせ、食い入るように観ていたのが印象的でした。当時のCSの生徒数は、信徒のお子さんを含めて、十数名前後だったように思います。

(小倉敏裕)

現在の教会学校の礼拝は、日曜日の9時15分からです。教師たちは、9時より準備祈禱をします。教材は牧羊者を使用し、フラッシュカードを紙芝居

にして色をぬり、わかりやすくお話をします。その日の聖書箇所を子どもたちが輪読します。最初は読むのが難しそうだった子どもさんも、今ではとても上手に読めるようになりました。子どもの出席者は3〜5人く



親子礼拝

らいですが、教会員の方にふたごの赤ちゃんが誕生し、にぎやかになりそうです。通常来ている子どもたちが、友達を連れてきてくれる時もあります。そのような未信者家庭の子どもさんたちのフォローが、課題です。

月に2、3回親子礼拝があります。午前10時30分から、大人の礼拝の前半に共に出席します。ギターの伴奏により子ども向けの賛美をし、スクリーンでフラッシュカードを映し、和田牧師がメッセージを語ります。終わりに牧師が子どもたち一人一人の頭に手を置き、お祈りをします。その後、2階に上がり分級をします。楽しく幸いな親子礼拝は、大人の方にも好評です。

(和田牧子)

子ども大会は、二〇一四年度は教会外の方向けに夏と冬に行いました。

夏はDVD鑑賞又は紙芝居、聖書のメッセージ、お楽しみタイムを出店風にして、ソースえびせん・あめDEわたあめ・ミニボーリング・わなげ・スーパースポーツ・かい・かき氷をしました。今までは白玉団子作り、餡のつかみ取りやお菓子の千本引きもしました。スーパースポーツは子どもには毎回好評ですが、外での

で大人は大変です。汗たくさんですが、信徒の壮年有志が毎回喜んで奉仕してくださいます。

冬は毎年恒例のフランネルの降誕劇です。その年によりますが、中学生がマリヤやヨセフの声を担当してくれることもあります。毎年同じ教材を使いますが、子どもたちは静かに見入ってくれます。そして、メッセージと賛美をして工作。昨年は立体クリスマスカードを作りました。今までにミニリース、牛乳パックでおもちゃ、筆立て、キャンドル等を作りました。そして最後に手作りおやつをいただきます。帰りにはお菓子とオリジナルみ言葉カードをお土産に渡します。CS教師だけではできないので、チラシ作成とチラシ配り、おやつ作り、当日の奉仕を教会の兄弟姉妹が助けてくださり、本当に助かっています。毎回十数名から二十数名が来てくださいます。

日頃から来ているCSの子ども向けにもいろいろな行事があります。花の日の警察署・消防署問安、お昼ご飯と一緒に食べてゲームをしたり、おやつを作ったり、公園で一緒に過ごして教会にお泊りというのもしました。



今年春の一泊キャンプ 公園で



今年春の一泊キャンプ 焼き肉パーティ



今年春の一泊キャンプ 教会にお泊まり

親子の会・・・家庭で月に一回程度、聖書を土台とした子育ての本を読んで話し合う会をしています。信徒の娘さん親子、友人親子、が来てくださっています。今まで子ども大会など教会行事にも来てくださったことがあり、教会の方々とも顔見知りになって感謝です。

(松藤なみ)

J O Y J O Y 英語クラブ・・・今から7年前の春、和田先生より、子どもたちに英語を通して伝道の働きを試してみるのはいかがでしょうか？ と、お声をかけて頂き、私

自身自宅で子どもたちに英語を教えたこともあり、祈りつつ月1回程度（土曜日の4時から）始めたのが、J O Y J O Y 英語クラブです。楽しいクラスにしたいと思い、J O Y J O Y と名付けました。しかし、始めた頃からしばらくは子どもたちは3、4人で、月に一回なので、レッスンも思うように進まず、やっても無駄かなと思う時もありましたが、神様の憐れみと皆様の祈りに支えられ、何とか今日まで続けられ感謝で一杯です。感謝なことに奉仕者も加えられ、また回数も月に二回出来るようになり、今では幼稚科、小学校低学年、小学校高学年と分けられるまでになりました。最初の頃の未信者の子どもさんが今は高校生になって、J O Y J O Y を卒業しても子ども大会などに手伝いに来て、教会と関わり続けてくれるのを見ると、「ああ、やって良かったな」と励まされています。

英語のレッスンのあと、和田先生のメッセージ、タイムという流れです。これからも私自身は何もできないけれど、何でもお出来るようになる神様にすべてを託し、楽しく英語クラブをさせていただきたいと願っています。

(上田真美子)

JOY JOY 英語クラブの幼稚科クラス・・・中学生の子どもたちが卒業して、一時は英語クラブの参加者が無くなるかと思われましたが、CSのイベントの一環である地域の子どもたちを呼ぶ子ども大会を通して、幼い子どもたちが英語クラブに参加してくれるようになりました。

幼稚科クラスでは、通常3～4歳の女の子が参加しています。英語の歌を歌ったり、単語カードで暗記したり、色塗りをしたり、英語でゲームをしたりと、一緒に楽しく遊びながら英語に触れるという内容です。決められたことをするよりも、子どもたちがその時の気分や雰囲気、やりたいと思うことを自発的に取り組めるように心がけています。そして何より、次回も来たいと思ってもらえるように、楽しんでもらうことを心がけています。その子どもたちはクリスチャンホームではなく、日曜の教会学校にも出席していませんが、この英語クラブを通して、教会の敷居が低くなり月2回お母さんと一緒に来てくれることが嬉しく感謝です。小さな関わりをもてること、心を開いて一緒に笑えること、英語で遊びながら、福音に触れるきっかけとなるように、主に与えられた賜物を

活かしながら祈りつつ、子どもたちの救霊のために今後
も楽しく続けて行きたいと願っています。

(武西加奈子)



JOY JOY 英語クラブ